

主の祈り

天にいます私たちの父よ。
御名が聖なるものとされますように。御国が来ますように。
みこころが天で行われるように、地でも行われますように。
私たちの日ごとの糧をきょうもお与えください。
私たちの負い目をお赦しください。
私たちも、私たちに負い目のある人たちを赦します。
私たちが試みにあわせないで、悪からお救いください。
国とちからと栄えは、とこしえにあなたのものだからです。 アーメン

使徒信条

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりてやどり、処女（おとめ）マリヤより生まれ、
ポンテオピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、
陰府（よみ）にくだり、三日目に死人のうちよりよみがえり、天にのぼり、
全能の父なる神の右に座したまえり、
かしこより来たりて、生ける者と死ねる者とを審きたまわん。
我は聖霊を信ず、聖なる公同教会、聖徒の交わり、罪の赦し、
身体のよみがえり、永遠（とこしえ）の生命を信ず。アーメン

定期集会の案内

- ★教会学校（子どもの分球） 日曜日午前9時30分～10時
- ★主日礼拝 日曜日午前10時30分～12時
- ★主日夕礼拝 日曜日午後19時30分～20時30分
- ★入門クラス 随時
- ★聖書研究祈禱会 水曜日午前10時～12時
午後 7時30分～9時（ご希望によって）
- ★その他の相談（要予約）

キリスト教ラジオ番組のご案内

ラジオ「世の光」ラジオ福島 日曜日 朝7時15分
教会のホームページ <https://fukushima-baptist.jp-church.com/>
教会のメールアドレス fukushima70bc@gmail.com

週報

Vol. 72 No. 24

2026年9月13日

保守バプテスト同盟

福島バプテスト教会

牧師 高橋治男

〒960-8132 福島市東浜町4番3号

電話 024(534)3612 FAX 024(563)1777



主日礼拝式次第

開式 10時30分
司式 高橋治男牧師

前奏 (黙禱) BWV 720

招詞 イザヤ書43章1節

交読 詩篇67篇

†讃美 24 (愛と恵み)

教会祈禱

主の祈り (週報に記載)

†讃美 225 (神の国)

使徒信条

聖書朗読 マルコの福音書6章45～56節

宣教 「奇跡をどう受けとめるか」

†讃美 338 (救いのみわざ)

司式者

司式者

司式者
牧師

感謝祈禱

献金 266

†頌栄 269

†祝禱

†後奏 (黙禱) 277

歓迎・報告・証し

佐原富美子姉

牧師

礼拝当番		本日	20日	27日	4日	会堂清掃 祈祷会参加者によって
	司式	牧師	牧師	奥田兄	牧師	
	奏楽					
	感謝	佐原姉	加藤姉	恵美子姉	飯塚姉	P A 担当 富雄兄
	P C	富雄兄	富雄兄	富雄兄	富雄兄	

2026年度のみことば

見よ、わたしは新しいことを行う。
今、それが芽生えている。

イザヤ書43章19節

報 告

○礼拝後の予定

愛餐の時をもちます。食事をともにし、主にある交わりが祝福されるようご参加ください。

○来主日の予定

今年度2回目の伝道礼拝の日です。

お証しをされる佐久間姉のためにもお祈りください。

チラシ・トラクトをお用いください。

○21日は同盟のファミリーフェスタがあります。

全プログラムに参加される方は、各自昼食の用意をしてください。
会場で食べることができます。

○9月は同盟の月です。同盟の働きや課題を覚えてお祈りしましょう。同盟の月献金は所定の封筒をお用いください。

○来信のお知らせ

『聖書神学舎通信』

祈 り

○主を求める方（求道者）が起こされるように。

○子どもたちへの伝道のために。

○奏楽者が与えられるように。

○礼拝後（外）の交わりが祝福されるよう。

◇今週の祈りの課題◇

日	霊的成長／佐原直樹兄	木	信教の自由／菅野祐司兄
月	伝道・超教派／飯塚啓子姉	金	病弱者、求道者／今野美代子姉
火	青少年伝道／飯塚修平兄	土	牧師・執事／佐久間慶子姉
水	海外宣教・同盟（ファミリーフェスタ）／出雲紀代姉		

今週の聖句

「しっかりしなさい。わたした。恐れることはない。」
マルコの福音書6章50節

来主日の宣教予定（伝道礼拝）

聖 書：ヨハネの福音書3章16節

宣 教：「イエス・キリストは救い主」

讃美歌： 9（讃美）、52（愛と恵み）、432（苦難と慰め）

前奏曲について BWV 720「神はわが堅き砦」

礼拝の心得

- ・礼拝前にはなるべく挨拶程度にとどめましょう。
- ・黙祷をしつつ礼拝に備えましょう。
- ・奏楽の音量が大きくなり、礼拝司式者が立ちましたら開始です。
- ・礼拝後は、お互い声を掛け合い主にあるお交わりをもちましょう。